NEWS LETTER

https://www.tokyo-gas.co.jp/

【東京ガス ガスミュージアム】 『「版画にみる近代事業の風景」〜渋沢栄一の足跡をたどる〜』展 開催のお知らせ

東京ガスのガスミュージアム(東京都小平市)では、2020年1月11日(土)から3月22日(日)まで、2019年度第四回企画展『「版画にみる近代事業の風景」~渋沢栄一の足跡をたどる~』展を、ガス灯館2階「ギャラリー」にて開催いたします。



■東京ガス創設者「渋沢栄一」



「日本資本主義の父」と言われ、新1万円札の顔に決まった実業家・渋沢栄一は、明治~大正期に多くの企業・事業を立ち上げました。その1つが東京ガスです。明治 18(1885)年10月1日、東京府から東京府瓦斯(ガス)局の払い下げを受け、東京瓦斯(ガス)会社として創立しました。

天保 11 年(1840)に現在の埼玉県深谷市血洗島に生まれた渋沢栄一は、子供 のころより勉学と商才に優れ家業を手伝う一方、青年期には尊王攘夷思想に傾斜 しますが、幕末動乱のなか一橋慶喜の家臣となりました。若くしてヨーロッパを訪れ、その文化を学ぶ機会を得ました。幕府崩壊後に帰国して一旦は明治政府に仕え

ますが、その後は民間企業の育成と社会事業、民間外交に力を尽くしました。設立にかかわった企業は 500 社を超えるといわれ、100 年以上の歴史を刻み、現在も活動する企業が数多くあります。

その功績が評価され、2019 年 4 月、2024 年上半期をめどに発行される新 1 万円札の肖像画に決まりました。また、9 月には 2021 年の NHK 大河ドラマ「青天を衝(つ)け」の主人公となることが発表されました。

■企画展について

今回の企画展では、日本の近代産業の父といわれる渋沢栄一が手がけたさまざまな近代事業の姿が描かれた当館所蔵の版画を通じて、当時の人々にどのように映り伝わっていったのかをご紹介いたします。



尚、本イベントは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会 組織委員会が推進する東京 2020 参画プログラムの文化活 動にあたる「東京 2020 文化オリンピアード」の取り組みとし て公認プログラムの認証を受けました。

■開催概要

【会期】2020年1月11日(土)から3月22日(日)

【休館日】月曜日 ※1月13日·2月24日(月·祝 振休)開館、1月14日·2月25日(火)休館

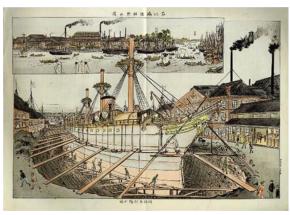
【開館時間】午前10時~午後5時 【入場】無料



歌川国輝(二代) 上州富岡製糸場之図 明治5(1872)年頃



歌川芳虎 東京海運橋第一国立銀行之全図並ニ近円の市中一覧の図 明治9(1876)年



山本昇雲 石川嶋造船所の図「新撰東京名所図会第31編」より 明治34(1901)年

■問合せ先

GAS MUSEUM がす資料館

https://www.gasmuseum.jp/ 住所:東京都小平市大沼町 4-31-25

TEL:042-342-1715/FAX:042-342-8057

受付時間:月曜日を除く10:00~17:00 ※月曜日が祝日の場合は開館、火曜日休館

